

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	会議と外部評価の連動が見られない。自己評価の報告、外部評価結果の検証、「目標達成計画」の進捗モニタリング等が会議の役割である事を意識づけたい。	地域に密着した いつでも気軽に訪ねることのできる開かれたホームにする	・回覧板をまわして頂く ・自治会の会合出席 ・地域の行事参加(ゴミ広い、掃除、出せ市) 以上の取り組みでホームを知って頂いてから介護保険、認知症について知りたいことなどアンケート配布により話し合いの会開催	12ヶ月
2	35	年間2回の防災訓練を行っているが、そのうちの1回は、夜間想定避難訓練を実施している。訓練後の反省点として、締め切った状態では非常ベルが建物外に聞こえないという課題が出てきた。	地域消防団と近隣の方との連携が取れる	地域消防団による消防訓練出席と、近隣の方と共に合同消防訓練の開催 非常ベルに関しては、今のところ大声で呼ぶ事しかないで近隣の方の協力が必要な為訓練の際は声をかけ参加をして頂ける様をお願いをしていく。	6ヶ月
3	23	「100の気付き」を洗い出した後、如何に分析して「その人らしさ」に繋がるケアを実践できるか。まさに「個別ケア」の正念場、中途半端な対応は許されない。	情報を分析する事によりその人らしい生活ができる様に支援が出来る。	100の気付きの情報を「出来ること」「出来ない事」「わかること」「分らない事」「その原因」は「何処」にあるか、「生活歴」の中にあるのか、「身体的」なものか、情報をQCの方法で分ける事をスタッフでしてもらおう。その事に対する「解決策」解決策のよるリスクなども踏まえ、どのようなケアが必要かを皆で考える。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。